

日本放送協会報

2022年12月19日 第4532号

目 次

・ 経営委員会委員の就退任について	1
業務情報 (指示事項)	
・ 日本放送協会防災業務計画について	2
(番組編集)	
・ 国内放送1月の番組編成について	10
・ 国際放送1月の番組編成について	15
お知らせ	
・ 放送番組審議会の開催（12月）	16
・ 放送番組審議会委員の委嘱等	16
・ 国際放送番組審議会委員の委嘱等	17
・ 登録権利（国内）	17
・ 部外からの表彰	18

経営委員会委員の就退任について

〔経営委員会事務局〕

〔経営委員会委員の任命〕

2022年12月11日付で、前田香織氏が経営委員会委員に新たに任命され、磯山誠二委員、水尾衣里委員が再任されました。

なお、長谷川三千子委員は、任期満了により退任されました。



まえ だ か おり
前 田 香 織

広島市立大学大学院情報科学研究科長
広島市立大学情報科学部長

編集・発行 総務局

業 務 情 報

(指示事項)

日本放送協会防災業務計画（地震防災対策推進計画を含む）の修正について
〔各部局長あて〕

2022. 11. 24
会 長

災害対策基本法第39条第1項の規定に基づき、「日本放送協会防災業務計画（地震防災対策推進計画を含む）」（会長達示 昭和38.10.16）を次のとおり修正し、2022年11月24日から適用します。

○日本放送協会防災業務計画

制定 会長達示1963. 10. 16
所管 報道局 災害・気象センター

改正 会長達示（1979. 10. 26）1979. 10. 26施行
会長達示（1980. 7. 25）
会長達示（1984. 11. 1）
会長指示（1988. 12. 19）
会長指示（1996. 7. 2）
会長指示（1999. 9. 3）
会長指示（2000. 5. 23）
会長指示（2004. 6. 1）
会長指示（2006. 5. 30）
会長指示（2006. 10. 2）
会長指示（2015. 1. 6）
会長指示（2021. 6. 8）
会長指示（2022. 11. 24）

第1章 総 則

第1節 目的

この計画は、災害対策基本法および大規模地震対策特別措置法、南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法、および日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づき、防災基本計画・地震防災基本計画・地震防災対策推進基本計画に従って作成した日本放送協会の防災業務計画であって、災害に際し放送の送出および受信を確保して、災害対策措置の円滑、適切な実施を図り、もって公共放送としての日本放送協会の使命を達成しようとするものである。

第2節 防災体制の確立

防災業務の重要性にかんがみ、各部門の権限と責任を明確にするとともに、その相互間の有機的な連携を図る。

また、ひとたび災害が発生した場合には非常配備体制をとり、災害対策本部を設置するなどして災害対策について万全の措置を講ずるものとする。

第3節 防災施設・設備等の整備

災害時における放送送出を確保するため、放送施設・設備の被害を未然に防止し、またはその被

害を最小限にとどめるため防災施設・設備の整備拡充を図る。
また、あわせて災害応急・復旧対策に必要な資材の備蓄，整備を図る。

第2章 災害予防計画

第1節 職員に対する防災教育の実施

防災思想の普及，災害に関する必須知識の周知徹底に努めるとともに，防災業務に従事する職員に対しては，災害発生の際，直ちに適切な措置をとりうるよう関係法令，実務に関する講習会，研究会等の実施および指導を行うものとする。

また，防災に関する専門的知識をかん養するため，職員研修課程に防災に関する事項を加え，充実を図る。

第2節 放送による防災思想の普及

災害時における混乱および被害を最小限にとどめるため，平常時から災害に関連する解説・キャンペーン番組等を積極的に編成し，視聴者の災害の予防，応急措置，避難等防災に関する認識の向上に努める。

また，関係各機関との連携を密にし，その災害に関する広報活動に積極的に協力する。

第3節 防災訓練

第1 部内訓練

災害時に職員が迅速かつ的確に防災業務を遂行しうるよう，次の計画により防災訓練を行う。

1 個別訓練

組織動員，情報連絡，放送送出，視聴者対応，放送施設防災，局舎防災，輸送，宿泊，給食給水，避難救助，非常持出および医療救護の各対策につき個別に訓練を実施する。

2 総合訓練

個別訓練事項の全部について，総合的に訓練を実施する。

第2 関係機関との共同訓練

国または地方公共団体等の主催する防災訓練，防災研究会等に積極的に参加する。

第3章 災害応急対策計画

第1節 放送対策

第1 災害時の番組編成方針

災害時における放送番組は，災害の種別・状況に応じ，緊急警報放送，災害関係の情報，警報，注意報，ニュースおよび告知事項，災害防御または災害対策のための解説・キャンペーン番組等，有効適切な関連番組を機動的に編成して，災害時の混乱を防止し，人心の安定と災害の復旧に資するものとする。

放送にあたっては，外国人，視聴覚障害者等にも配慮を行うよう努めるものとする。

第2 災害時におけるニュース取材

災害時において，一般住民が非常事態に即応して，適切な措置をとりうるよう，災害の状況，その見通し，応急対策の措置状況等について，関係機関と密接な連絡を保ちつつ情報の収集にあたり，迅速かつ的確な放送を実施する。

第3 要請に基づく予報，警報，警告等の放送

地方公共団体および関係機関の長から災害に関する予報，警報，警告その他緊急を要する告示事項の放送に関し要請があったときは，あらかじめ協議して定めた手続きによりの確かつ臨機の措置を講じ，効果的な時間，放送系統および局所により適切な放送を実施し，関係地域への周知

徹底に努めるものとする。

第2節 放送施設対策

災害時においては、放送施設に対する障害の排除に万全を期する。障害が発生し、平常時の運用が困難となったときは、原則として次の措置により放送送出の確保に努めるものとする。

第1 放送機等障害時の措置

放送機などの障害により、一部の放送システムによる放送送出が不可能となったときは、他の放送システムにより臨機に番組を変更あるいは他の番組を切り替え、災害関連番組の放送継続に努めるものとする。

第2 中継回線障害時の措置

一部中継回線が断絶したときは、常置以外の必要機器の仮設等により、無線または他の中継回線等を利用して放送の継続に努めるものとする。

第3 演奏所障害時の措置

災害のため放送局の演奏所から放送継続が不可能となったときは、他の臨時の演奏所を開設し、放送の継続に努めるものとする。

第3節 受信対策

災害時における受信の維持・確保のため次の対策を講じる。

第1 受信設備の復旧

被災した受信設備の取り扱いについて、告知放送のほか、状況によりチラシまたは新聞等の部外広報機関を利用して周知するとともに、関連団体および関係機関との連携により、受信設備応急復旧班を組織し、受信相談、被災受信設備の復旧を行う。

第2 避難所等での放送受信の確保

避難所その他有効な場所での災害関連放送の受信を確保するため、受信機の貸与・設置などの対策を講ずる。

第4節 関係機関への情報提供

災害時においては、国に設置される非常災害対策本部や関係省庁等への情報提供に努めるものとする。

第4章 災害復旧計画

災害復旧にあたっては、被災した施設および設備の早期復旧を図るとともに、再度同種の被害を受けることのないよう十分な配慮をする。

第1節 復旧計画の作成

被災した施設および設備等については、迅速・的確にその被害状況を調査し、これに基づき速やかに復旧計画を作成する。

復旧の順位は、放送の送出に重大な影響を及ぼすと認められる施設・設備を優先するものとする。

第2節 復旧工事の実施

復旧工事の実施にあたっては、人員、資材等を最大限に活用して、復旧作業を迅速に推し進め、全般的な早期復旧を図ることとするが、状況に応じて、次のとおりとする。

第1 応急復旧工事

復旧工事が長期にわたる場合、必要最小限の復旧を図ったのち、逐次全面的な復旧工事を実施する。

第2 補強・改修復旧工事

応急資材による仮工事により復旧した施設・設備は、その後適切な補強および改修工事を実施する。

第3 緊急復旧工事

被災後速やかに復旧を図らなければさらに被害が累加するおそれのある施設・設備については、可及的速やかに、適切な復旧措置を講じる。

第5章 地震防災強化計画と地震防災対策推進計画の作成

大規模地震対策特別措置法に基づき、地震防災対策強化地域の指定があった場合は、当該地域にかかわる地震防災強化計画を作成する。また、南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法、および日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づき、地震防災対策推進地域が指定された場合には、地震防災対策推進計画を作成する。

地震防災強化計画ならびに地震防災対策推進計画は、地震防災基本計画・地震防災対策推進基本計画を基本とし、当該地震に関して実施すべき応急対策ならびに関連の防災訓練・教育について定めるものとする。

地震防災強化計画

第1章 総 則

この計画は、大規模地震対策特別措置法に基づき、東海地震の地震防災対策強化地域にかかわる地震防災基本計画を基本として作成したものであり、警戒宣言が発せられた場合の応急対策ならびに関連の防災訓練・教育などについて定め、協会における当該大規模地震にかかわる防災体制の確立を図ることを目的とするものである。

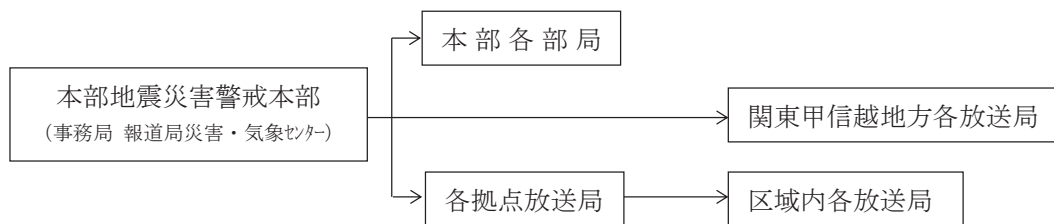
第2章 地震防災応急対策

第1節 警戒宣言等の伝達および状況報告

警戒宣言、警戒態勢を執るべき旨の公示、地震防災応急対策にかかわる措置を執るべき旨の通知、地震予知情報の内容、その他これらに関連する情報についての協会内の伝達は、専用回線等を使用し、次の連絡系統により正確かつ速やかに行う。

また、地震防災応急対策の実施状況、各種情報等の報告は、逆のルートによることとする。

警戒宣言等の連絡系統図



第2節 非常組織の設置

警戒宣言が発せられた時点において、次により地震災害警戒本部等の非常組織を設置し、地震防災応急対策に万全の体制を整える。

第1 強化地域関連各局

本部および地震防災対策強化地域を受け持つ放送局とその拠点放送局ならびにその周辺局（以下総称して「強化地域関連各局」という。）においては、それぞれ各局長（本部は会長）を本部長とする地震災害警戒本部を設置する。地震災害警戒本部の組織、職務の基準等は別に定める。

第2 強化地域関連各局以外の放送局

強化地域関連各局以外の放送局については、地震災害警戒本部に準じた非常組織を設置し、本部地震災害警戒本部の指示に対応しうる体制を整える。

第3節 地震防災応急対策実施のための動員および準備活動

警戒宣言が発せられた場合、警戒宣言にかかわる各種情報の伝達、地震発生後の放送確保に備え、次の準備活動を行う。

第1 動員

強化地域関連各局においては、各地震災害警戒本部の動員計画に基づき非常配備体制をとることとする。

第2 施設の緊急点検

強化地域関連各局においては、あらかじめ定める要領に基づき、主要設備の点検を行う。

第3 応援

本部および強化地域関連各局以外の放送局においては、本部地震災害警戒本部の指示により、あらかじめ定める計画によって、速やかに必要な人員・資材の応援を行うこととする。

第4 緊急輸送

強化地域関連各局応援のための人員・資材の緊急輸送にあたっては、関係機関と協議する等あらかじめ必要な措置をとり、輸送手段の確保に万全を期する。

第4節 地震予知情報等の放送

地震予知情報等の放送にあたっては、地震災害および社会的混乱の防止を目的として、居住者等に対して冷静な対応を呼びかけるとともに、交通・ライフライン・生活関連情報等の正確・迅速な情報の提供に努めることを基本とし、緊急警報放送、臨時ニュースを編成する等、各メディアを有効に活用して対処することとする。

放送にあたっては、外国人、視聴覚障害者等にも配慮を行うよう努めることとする。

第3章 大規模な地震にかかわる防災訓練

警戒宣言が発せられた場合に備え、強化地域関連各局においては、次により防災訓練を実施するほか、国または地方公共団体等の主催する防災訓練等に積極的に参加する。

第1 各局別訓練

警戒宣言が発せられた場合の対応について、地域の事情をふまえ、必要な総合的訓練を実施し、地震防災応急対策の徹底を図る。

第2 合同訓練

各局別訓練のほか、強化地域関連各局を中心に支援体制を含む合同訓練を実施し、地震防災応急対策の充実強化に資する。

第4章 地震防災上必要な教育

強化地域関連各局を中心に、職員が地震防災上果たすべき役割等に関し、職場研修などにより次の事項を重点に実施する。

- 1 関連法規について
- 2 予想される地震および津波について
- 3 地震予知情報等が出された場合および地震が発生した場合の職員の行動について
- 4 地震防災対策として現在講じられている対策について
- 5 今後取り組む必要性のある地震対策について

地震防災対策推進計画

第1章 総則

この計画は、南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法、および日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づき、南海トラフ地震および日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の防災対策推進基本計画を基本として作成したものであり、地震が発生した場合、または南海トラフ地震臨時情報もしくは北海道・三陸沖後発地震注意情報が発せられた際の応急対策ならびに関連の防災訓練・教育などについて定め、協会における当該大規模地震にかかわる防災体制の確立を図ることを目的とするものである。

第2章 地震防災応急対策

第1節 非常組織の設置

地震が発生した時点、または南海トラフ地震臨時情報もしくは北海道・三陸沖後発地震注意情報が発せられた時点において、被害の状況等を見ながら、次により地震災害対策本部等の非常組織を設置し、地震防災応急対策に万全の体制を整える。

第1 推進地域関連各局

本部および地震防災対策推進地域を受け持つ放送局とその拠点放送局ならびにその周辺局（以下総称して「推進地域関連各局」という。）においては、それぞれ各局長（本部は会長）を本部長とする地震災害対策本部を設置する。

第2 推進地域関連各局以外の放送局

推進地域関連各局以外の放送局については、地震災害対策本部に準じた非常組織を設置し、本部地震災害対策本部の指示に対応しうる体制を整える。

第2節 地震防災応急対策実施のための動員および準備活動

地震が発生した後、または南海トラフ地震臨時情報もしくは北海道・三陸沖後発地震注意情報が発せられた後の放送確保に備え、次の準備活動を行う。

第1 動員および応援

本部および推進地域関連各局においては、地震が発生した場合、または南海トラフ地震臨時情報もしくは北海道・三陸沖後発地震注意情報が発せられた場合には、あらかじめ作成した体制別動員計画表により職員を招集し、状況に応じた対策措置を実施する。また本部および推進地域関連各局以外の放送局においては、本部地震災害対策本部の指示により、速やかに必要な人員・資材の応援を行うこととする。

第2 施設の保安維持

放送設備・機材の被害を最小限にとどめるとともに、被害が発生した時は迅速適切な応急措置により、あくまで放送の送出を持続することに最大の努力を払うものとし、平常時から放送設備や中継回線障害時の対処について適切な措置を講じるものとする。

第3節 放送

放送にあたっては、災害時の社会的混乱や被害を最小限にとどめるため、平常時から災害に関連するニュースや番組を編成して視聴者の防災に関する認識の向上に努める。地震が発生した時、または南海トラフ地震臨時情報もしくは北海道・三陸沖後発地震注意情報が発せられた時には、被害に関する情報や交通に関する情報、ライフラインに関する情報等必要とされる情報の提供を基本

とし、居住者及び観光客等に対して冷静な対応を呼びかけるとともに、津波に対する避難が必要な地域の居住者及び観光客等に対しては、津波警報等を正確・迅速に伝えることに最善の努力を払うものとする。

また放送にあたっては、緊急警報放送、臨時ニュースを編成する等、各メディアを有効に活用して対処するとともに、外国人、視聴覚障害者等にも配慮を行うよう努めることとする。

第3章 南海トラフ地震および日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震にかかわる防災訓練

地震が発生した場合、または南海トラフ地震臨時情報もしくは北海道・三陸沖後発地震注意情報が発せられた場合に備え、推進地域関連各局においては、次により防災訓練を実施するほか、国または地方公共団体等の主催する防災訓練等に積極的に参加する。

第1 各局別訓練

地震が発生した場合、または南海トラフ地震臨時情報もしくは北海道・三陸沖後発地震注意情報が発せられた場合の対応について、地域の事情をふまえ、必要な総合的訓練を実施し、地震防災応急対策の徹底を図る。

第2 合同訓練

各局別訓練のほか、推進地域関連各局を中心に支援体制を含む合同訓練を実施し、地震防災応急対策の充実強化に資する。

第4章 地震防災上必要な教育

推進地域関連各局を中心に、職員が地震防災上果たすべき役割等に関し、職場研修などにより次の事項を重点に実施する。

- 1 関連法規について
- 2 予想される地震および津波について
- 3 地震が発生した場合の職員の行動について
- 4 地震防災対策として現在講じられている対策について
- 5 今後取り組む必要性のある地震対策について

(番組編集)

国内放送1月の番組編成について

〔メディア編成センター〕

2023年の新春は、総合テレビ1日(日)の「ブラタモリ×鶴瓶の家族に乾杯 新春スペシャル」や、Eテレ1日(日)の「ウィーン・フィル ニューイヤーコンサート2023」などおなじみの特集番組のほか、総合テレビ2日(月)には、13年ぶりの募集となったJAXAの宇宙飛行士選抜試験に迫る「選ばれるのは誰だ!? 史上最難関の選抜試験 宇宙飛行士誕生」(ライフ教養)や、宮藤官九郎脚本の正月時代劇「いちげき」(総合テレビ・3日(火))をはじめバラエティ豊かな特集番組を各メディアで放送する。

2023年の大河ドラマ「どうする家康」は8日(日)から総合テレビ・BSプレミアム・BS4Kでスタートする。これに合わせ、総合テレビ2日(月)の50ボイス「どうする家康」や、BSプレミアム14日(土)の「絶対に行きたくなる!ニッポン不滅の名城 徳川家康の城」など関連する番組で視聴者の関心に応じていく。

また、FM放送の8日(日)は「今日は一日 back number三昧」を放送、連続テレビ小説「舞いあがれ!」の主題歌を担当するロックバンドback numberを特集する。

○ニュース・解説・スポーツ ジャンルの主な番組

〔特集番組〕

- ・スポーツ酒場語り亭 2023新春・巻頭言 BS1 1日(日)
- ・新年一般参賀 総合 2日(月)
- ・大相撲どすこい研「巡業」 BS1 未定(上旬)
- ・サッカーの園～究極のワンプレー～
「2022 Jリーグ“園”流アウォーズ」 BS1 2日(月)
- 「昇格・降格」 BS1 7日(土)
- ・レジェンドの目撃者「張本勲」 BS1 未定(中旬)
- ・スケートボードTV 第4回 BS1 未定(中旬)
- ・武井壮のスポーツプラネット「挑戦!驚異のスイング 障害者ゴルフ」 BS1 未定(下旬)
- ・スポデカラ!「ワールドカップ 中津江村とカメルーンの物語(仮)」 BS1 未定

〔定時番組〕

- ・日曜討論「2023年 政治はどう動く(仮)」 総合・R1 8日(日)
- ・ニュースLIVE! ゆう5時
総合 4日(水)、5日(木)、23日(月)～26日(木)、30日(月)、31日(火)
- ・サタデーウオッチ9 総合 7日、14日、21日、28日
- ・スポーツ×ヒューマン
「ヴァンフォーレ甲府」 BS1 2日(月)
- 「母として三度、五輪の頂点へ ～レスリング・金城梨紗子～」 BS1 23日(月)
- 「自分らしさを捨ててでも ～モーグル・堀島行真～」 BS1 30日(月)

- ・チャリダー★快汗！サイクルクリニック
「ツール・ド・おきなわ①★サイクリング～人生最長距離への挑戦(仮)」
BS1 7日(土)
- 「ツール・ド・おきなわ②★ロードレース男子部、アマチュア頂上決戦に挑む(仮)」
BS1 21日(土)
- ・ランスマ倶楽部
「咲楽のフルマラソンチャレンジ」 BS1 8日(日)
- 「ランのお悩み解決スペシャル」 BS1 29日(日)
- ・球辞苑 ～プロ野球が100倍楽しくなるキーワードたち～
「2022年改訂版(投手編)」 BS1 1日(日)
- 「パームボール」 BS1 29日(日)

[スポーツ]

- ・全国大学ラグビー選手権 総合 2日(月)、総合・R1 8日(日)
- ・大相撲(2023年)初場所 総合・BS1・BS4K 8日(日)～22日(日)
- ・Bリーグ「横浜ビー・コルセアーズ」対「琉球ゴールデンキングス」
BS1 7日(土)ほか
- ・Bリーグ オールスターゲーム BS1 14日(土)
- ・第41回全国都道府県対抗女子駅伝 総合・R1 15日(日)
- ・第28回全国都道府県対抗男子駅伝 総合 22日(日)
- ・全日本卓球選手権2023 総合・BS1 28日(土)、29日(日)
- ・皇后杯JFA第44回全日本女子サッカー選手権 決勝 BS1 28日(土)
- ・第40回 カーリング日本選手権 BS1 28日(土)～2月5日(日)

○教育・次世代・福祉 ジャンルの主な番組

[特集番組]

- ・出川哲朗のクイズほお～スクール 正月SP Eテレ 1日(日)
- ・セカゲー！～ゲームで世界を見てみよう～ Eテレ 1日(日)
- ・偉人の年収How much?「徳川家康」 Eテレ 3日(火)
- ・ピタゴラススイッチ特集「ビーだまビーすけ 完結編を大解説！」 Eテレ 11日(水)
- ・ズームジャパン Eテレ 24日(火)
- ・虹クロ Eテレ 28日(土)
- ・今君電話 2022年末編 Eテレ 28日(土)
- ・おかあさんといっしょ うたのリクエスト 冬スペシャル Eテレ 30日(月)

[定時番組]

- ・ロッチと子羊 Eテレ 5日(木)
- ・ギョギョっとサカナ★スター Eテレ 13日(金)
- ・モンモンZ「伊沢さん！アナログな人たちとどう付き合う？」 Eテレ 14日(土)
- ・夜もオハ！よ～いどん Eテレ 25日(水)
- ・ハートネットTV「#きょうだい～家族と自分の狭間で～」 Eテレ 30日(月)

○ライフ・教養・趣味実用 ジャンルの主な番組

[特集番組]

- ・日本最強の城スペシャル 総合 2日(月)
- ・選ばれるのは誰だ!? 史上最難関の選抜試験 宇宙飛行士誕生 総合 2日(月)
- ・これって攻めすぎ!? 世界旅行「ギリシャ 祈りと祭りに“魅せられて”」
総合 2日(月)
- ・クイズ! 丸をつけるだけ 総合 10日(火)
- ・先人たちの底力 知恵泉(ちえいず) スペシャル「正月料理」 Eテレ 1日(日)
- ・キュレーターバトル!! Eテレ 1日(日)
- ・ふるカフェ系ハルさんの休日～飛騨古川! スピンオフ正月SP～ Eテレ 3日(火)
- ・世界のグう! 話 Eテレ 3日(火)
- ・COOL JAPAN「世界が驚いたニッポンのNEWS新春スペシャル2023」
BS1 1日(日)
- ・奇跡のレッスン「トム・ホーバス」 BS1 3日(火)
- ・誕生! 西成ばあちゃんコレクション BS1 28日(土)
- ・私たちのデジタル医療革命2023 BS1 29日(日)
- ・ビューティフル・アルプス「グラン・パラディーズ」 BSP 7日(土)
- ・岩合光昭の世界ネコ歩き 三重 BSP・BS4K 7日(土)
- ・すこぶるアガルビル「大阪城天守閣」
「梅田スカイビル」 BSP 12日(木)
- ・絶対行きたくなる! ニッポン不滅の名城 徳川家康の城 BSP 13日(金)
- ・自転車旅 ユーロヴェロ90000キロ イタリア・オーストリア・チェコ BSP 14日(土)
- ・ゆったり温泉ひとり旅 ～冬・信越編～ BSP・BS4K 14日(土)
- ・行くぞ! 最果て! 秘境×鉄道「マレーシア篇」 BSP 21日(土)
- ・エラー 失敗の法則「雪印の解体」 BSP・BS4K 21日(土)
- ・山と原野とスケッチと ～日高山脈と生きた画家・坂本直行～ BSP・BS4K 26日(木)
- ・まいにち養老先生、ときどき…2023冬 BSP 27日(金)
- ・まいにち養老先生、ときどき…2023冬 BSP 28日(土)

[定時番組]

- ・ヒューマニエンスQ(クエスト)〈新〉 総合 9日(月)
- ・明鏡止水～武のKAMIWAZA～〈新〉 総合 11日(水)
- ・ニッポン知らなかった選手権 実況中! 〈新〉 総合 17日(火)

○ドラマ・エンター・音楽・伝統芸能・クラシック・アニメ・映画 ジャンルの主な番組

[特集番組]

- ・ブラタモリ×鶴瓶の家族に乾杯 新春スペシャル 総合 1日(日)
- ・50ボイス「どうする家康」 総合 2日(月)
- ・SONGS OF TOKYO FESTIVAL 総合 2日(月)
- ・正月時代劇「いちげき」 総合・BS4K 3日(火)
- ・ウィーン・フィル ニューイヤーコンサート2023 Eテレ 1日(日)
- ・第65回NHKニューイヤーオペラコンサート Eテレ・BS8K 3日(火)
- ・特集ドラマ『旅屋おかえり』長野編・前編 BSP 30日(月)

[定時番組]

- ・大河ドラマ「どうする家康」〈新〉(1) 総合・BS4K 8日(日)
- ・プレミアムドラマ「我らがパラダイス」〈新〉(1) B S P 8日(日)
- ・夜ドラ「ワタシってサバサバしてるから」〈新〉(1) 総合 9日(月)
- ・ドラマ10「大奥」〈新〉(1) 総合 10日(火)
- ・土曜ドラマ「探偵ロマンス」〈新〉(1) 総合 21日(土)

○プロジェクト・ノンジャンルの主な番組

[定時番組]

- ・NHKスペシャル
 - 「フローズン プラネット ～命かがやく氷の王国～」 総合 1日(日)
 - 「混迷の世紀 特別編 世界は平和と秩序を取り戻せるか(仮)」 総合 1日(日)
 - 「超・進化論 キッズ&ティーンズ特別編 体感！超進化論ワールド(仮)」 総合 7日(土)
 - 「認知症の母と、脳科学者の私(仮)」 総合 7日(土)
 - 「超・進化論 第3集 微生物～すべての生きものを生かす真の王者～(仮)」 総合 8日(日)
- ・E T V特集
 - 「沖縄の〈眼〉になった男～写真家・平良孝七 復帰前後の1000枚～(仮)」 Eテレ 7日(土)
- ・BS1スペシャル
 - 「欲望の資本主義2023 『黄昏の国』の向こう側(仮)」 BS1 1日(日)
 - 「美の“パンドラの箱”は開くのか～ヨーロッパで進む文化財返還～」 BS1 3日(火)
 - 「市民が見たロシア・ウクライナ侵攻 11～12月期」 BS1 8日(日)
 - 「“抗がん厨房”～中国 命の決断を迫られる患者たち～」 BS1 22日(日)

○ラジオジャンルの主な番組

[特集番組]

- ・美輪明宏の金色の時間 R1 1日(日)
- ・ハッキヨイ！もっと大相撲 ～あけまして！令和5年も大相撲！！～ R1 1日(日)
- ・朗読 野間口徹が読む 遠藤周作「四十歳の男」 R1 1日(日)～5日(木)
- ・ともとのSDGsと遊ぼう！ R1 1日(日)～5日(木)
- ・高橋源一郎の飛ぶ教室～新春！初夢スペシャル2023～ R1 1日(日)
- ・50年目のアリス ～B E G I N N I N G 2023～ R1 2日(月)
- ・ヒプノシスマイク 2023新春リクエスト祭 R1 6日(金)
- ・きき初め 邦楽特選 FM 1日(日)、2日(月)、3日(火)
- ・雅楽 FM 1日(日)
- ・新春謡曲狂言 FM 1日(日)、2日(月)、3日(火)
- ・新春吟詠 FM 2日(月)、3日(火)
- ・新春民謡列島2023 FM 1日(日)

- ・角野隼斗 Presents Radio CrossOver FM 1日(日)
- ・ウィーン・フィル ニューイヤーコンサート2023 FM 1日(日)
- ・twilight Club DJ MIX FM 1日(日)
- ・反田恭平のピアノ・ジャム FM 2日(月)
- ・メタルゴッドJP 2022-23 FM 2日(月)
- ・第76回全日本学生音楽コンクール全国大会 FM 3日(火)～5日(木)
- ・第65回NHKニューイヤーオペラコンサート FM 3日(火)
- ・音楽を科学する ゴスペラーズ・北山陽一×miwa FM 3日(火)
- ・「プ」はプログレの「プ」～ジャズ・ロック無頼編～ FM 3日(火)
- ・今日は一日 back number 三昧 FM 8日(日)
- ・ぶいあーる！ FM 9日(月)

[スポーツ]

- ・第99回東京箱根間往復大学駅伝 R1 2日(月)、3日(火)
- ・第59回全国大学ラグビー選手権・決勝 R1 8日(日)
- ・大相撲(2023年)初場所 R1 8日(日)～22日(日)
- ・第41回全国都道府県対抗女子駅伝 R1 15日(日)

国際放送1月の番組編成について

〔国際放送局〕

ニュースでは、岸田総理大臣の年頭所感や施政方針演説に注目しつつ、日本政府の政策や、新型コロナ対策などについて伝えていく。海外では、引き続き、ウクライナ情勢や軍事挑発を続ける北朝鮮の動き、習近平国家主席にさらに権力が集中した中国の動向を伝えるとともに、世界の要人が集う「ダボス会議」や米バイデン大統領の一般教書演説などにフォーカスする。

番組では、創立150周年を迎えた東京国立博物館の魅力に迫る特集番組など、日本の文化的魅力を伝える番組を編成する。そのほか、多様化性と社会の在り方を問う「GLOBAL AGENDA」や、米中間選挙における市民たちの選択を追った特集など多彩な番組を編成する。

〈NHKワールド JAPANの主な番組〉

■日本の文化的な魅力を発信する特集番組

- ・ Explore the Tokyo National Museum
創立150年記念
これが東京国立博物館のすべてだ！ 8日(日)
- ・ Trails to Oishii Tokyo Remix
食で願う幸せ 28日(土)

■そのほかの主な特集番組

- ・ GLOBAL AGENDA
Beyond the Gender
ジェンダーの現在地と未来 7日(土)
- ・ 〈NHK WORLD PRIME〉
Where the Divide Leads - US: Citizens' Choices
分断の果て 市民たちが選択したアメリカの行方は 21日(土)
- ・ 〈NHK Drama Showcase〉
Kiriko's Crime Diary 一橋桐子の犯罪日記
第1話、第2話、第3話 〈全5話〉 15日(日)、22日(日)、29日(日)

お 知 ら せ

放送番組審議会の開催（12月）

審 議 会	日 時	担 当
第698回 中央放送番組審議会	12月19日（月）午後4時	メディア編成センター
第696回 関東甲信越地方放送番組審議会	12月16日（金）午後3時	メディア編成センター 首都圏局
第692回 近畿地方放送番組審議会	12月21日（水）午後3時	大阪放送局
第695回 中部地方放送番組審議会	12月15日（木）午後2時	名古屋放送局
第697回 中国地方放送番組審議会	12月15日（木）午後2時	広島放送局
第698回 九州沖縄地方放送番組審議会	12月15日（木）午後2時	福岡放送局
第700回 東北地方放送番組審議会	12月15日（木）午後2時	仙台放送局
第692回 北海道地方放送番組審議会	12月21日（水）午後3時30分	札幌放送局
第697回 四国地方放送番組審議会	12月19日（月）午後1時30分	松山放送局
第697回 国際放送番組審議会	12月20日（火）午後4時	国際放送局

放送番組審議会委員の委嘱等

〔メディア編成センター〕

審 議 会	年 月 日	委 嘱 等	氏 名
中央放送番組審議会	2022.12.1	再委嘱	小 沢 秀 行 氏（朝日新聞社論説副主幹）
関東甲信越地方放送番組審議会	2022.12.1	新規委嘱	飯 島 禎 典 氏（株式会社湊興 専務取締役）
〃	2022.11.30	退 任	杉 山 弘 子 氏（アサヤ食品株式会社代表取締役社長）
四国地方放送番組審議会	2022.12.1	再委嘱	阿 部 和 孝 氏（松山市農業協同組合代表理事組合長）

国際放送番組審議会委員の委嘱等

〔国際放送局〕

年月日	委嘱等	氏名
2022. 11. 1	新規委嘱	坂野 晶 氏 (一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパン 代表理事)
2022. 12. 1	新規委嘱	遠藤 乾 氏 (国際政治学者、東京大学大学院法学政治学研究科 教授)
2022. 10. 31	退任	田中 浩一郎 氏 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授、 (一財)日本エネルギー経済研究所 参与)
2022. 11. 30	退任	岡田 亜弥 氏 (名古屋大学大学院国際開発研究科 教授)

登録権利 (国内)

〔放送技術研究所〕

番号	発明考案の名称	登録年月日	権利者
特許 第7166743号	符号化装置、復号装置及びプログラム	2022. 10. 28	日本放送協会
特許 第7167212号	符号化装置、復号装置及びプログラム	2022. 10. 28	日本放送協会
特許 第7168359号	磁壁移動型空間光変調器の開口率向上構造	2022. 10. 31	日本放送協会
特許 第7169110号	倍率色収差測定装置	2022. 11. 1	日本放送協会
特許 第7169114号	ワイパー付き天気カメラ	2022. 11. 1	日本放送協会
特許 第7169207号	量子ドット発光素子及び表示装置	2022. 11. 1	日本放送協会
特許 第7174563号	記録装置	2022. 11. 9	日本放送協会
特許 第7174564号	磁壁移動型デバイスのデータ記録方法および記録装置	2022. 11. 9	日本放送協会
特許 第7174568号	超解像装置およびそのプログラム	2022. 11. 9	日本放送協会
特許 第7174633号	コンテンツ配信装置、携帯端末、受信装置およびそれらのプログラム	2022. 11. 9	日本放送協会

番 号	発明考案の名称	登録年月日	権 利 者
特 許 第 7175091 号	無線通信システム、送信局及び受信局	2022. 11. 10	日本放送協会 株式会社日立国際電気
特 許 第 7175101 号	音声特性処理装置、音声認識装置およびプログラム	2022. 11. 10	日本放送協会
特 許 第 7178195 号	動特性測定装置及びそのプログラム、並びに、動特性測定システム	2022. 11. 16	日本放送協会 一般財団法人NHKエンジニアリングシステム
特 許 第 7179510 号	受信機、放送設備、放送システムおよびプログラム	2022. 11. 18	日本放送協会
特 許 第 7181693 号	ニュース素材分類装置、プログラム及び学習モデル	2022. 11. 22	日本放送協会
特 許 第 7181738 号	スピーカ装置、スピーカ係数決定装置、及びプログラム	2022. 11. 22	日本放送協会
特 許 第 7181791 号	アップリンク装置、再放送装置、及びプログラム	2022. 11. 22	日本放送協会

部外からの表彰

〔技術局〕

第36回 電波技術協会賞

年月日	表彰者	事 由	受賞者
2022. 11. 21	一般財団法人 電波技術協会	墨田放送所移転と 首都圏安定電波確保に貢献	大嶋 猛司 (元 技術局首都圏技術部長)
		地上デジタル放送の円滑導入と 周波数資源の有効活用に貢献	柳原 健司 (元 技術局送受信技術センター 放送網施設部長)

第55回 電気通信産業功労賞
〈永年従事〉

年月日	表彰者	事由	受賞者
2022. 11. 22	一般社団法人 電気通信協会	北海道の地域放送局に長年勤務し、番組制作や番組送出、設備の整備・維持管理等、幅広く放送技術業務に従事した。その豊富な経験を生かし、設備の安定運用を支えるとともに、後進の育成や技術継承にも尽力した。	羽賀 正則 (元 旭川放送局)
		長年にわたり放送の安定送出に尽力し、新たな放送設備の習熟にも熱心に取り組んだ。また、九州沖縄の若手運行技術者を育成するプロジェクトを主導するなど、後進の育成にも貢献した。	嶺川 五十六 (元 佐賀放送局)
		主に福井放送局で幅広く放送技術業務に従事し、地域に根差した技術者として放送業界の発展に尽力した。番組技術業務では、山岳ロケ・中継等で活躍し、また送信業務でも地上デジタル放送の円滑な開局に貢献した。	八原 康広 (元 福井放送局)

〈創意工夫、機器の改良・開発〉

年月日	表彰者	事由	受賞者
2022. 11. 22	一般社団法人 電気通信協会	半導体微細加工技術を用いたセンサ分野の研究に従事し、超小型高感度シリコンマイクの開発に成功、さらに光電変換部と信号処理回路を立体集積して多画素と高フレームレートを両立する3次元構造撮像デバイスを世界で初めて実現した。	井口 義則 (放送技術研究所)